

小6国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 93.1%

ねらい：漢字の読みと書きが正確にできるかを問う。

分析と対策：漢字を覚えるときは、読み方と書き方を一緒に確認しましょう。音読みと訓読みがあれば、どのような読み方になるのか、おくりがなはどうなるのかを覚えましょう。書くときは、とめる部分やはねる部分にも気をつけましょう。

2 助詞 98.3%

ねらい：文の意味がつながるよう正確な助詞を入れられるかを問う。

分析と対策：文が正しくつながる助詞を入れましょう。実際に助詞を入れてみて、文を読んでみましょう。助詞はいくつもありますので、それぞれの助詞がどういった働きをしているのかを知ることが大切です。

3 敬語 95.0%

ねらい：敬語の理解について問う。

分析と対策：敬語を正しく使うためには、誰の行動なのかを確認する必要があります。尊敬語は相手の行動、謙譲語は自分の行動のときに使います。また、謙譲語は自分側の人間が動作主の際にも用いますので注意が必要です。

4 短歌・俳句と鑑賞文の読み取り 76.6%

ねらい：短歌・俳句・鑑賞文から感じたことを読み取れるかを問う。

分析と対策：①は、海女の仕事の様子から作者が感じたことを詠んだ俳句です。②は、谷の中を川が流れていること、

そして一月であることだけが比喻などを使わずに端的に詠まれた俳句です。③と④は短歌です。③は、「竹林での朝のさわやかな様子」を読み取ります。④は、「あなた」が「私」のところに来てくれた「喜び」を詠んだ歌です。俳句や短歌は、短い中に表現が凝縮されています。その表現を鑑賞文も用いて理解することが大切です。また、(7)では表現技法が問われています。これ以外の表現技法についても調べてみましょう。

5 論説文の読み取り 84.6%

ねらい：文章の話題がどのような内容なのかを正確につかみ、各問題に的確に答えられるかを問う。

分析と対策：琵琶湖がどのように人々とともにあったのかを述べた文章です。説明は原始時代から始まり、最近の琵琶湖の様子に続きます。長い年月、人々は琵琶湖から多くの恵みを得てきました。また、琵琶湖は経済発展にも大きく貢献しています。琵琶湖は人々とともにあったと言えるでしょう。しかし、その琵琶湖の様子がおかしくなった原因は、皮肉なことに人間の手によってでした。また、琵琶湖が「調子をくずしだした」原因について(4)①で問われます。また、そのうちのひとつ「内湖の干拓」の目的を(5)でおさえます。それらをふまえて、文章全体で筆者が何を述べたいのかを(6)でとらえます。

全体の平均点は86.3点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。